

平成30年度 第1回大崎上島町総合教育会議 議事録

1 日時 平成30年6月18日(月) 午後1時00分～午後1時40分

2 場所 大崎支所302会議室

3 出席者 (構成員)

大崎上島町長 高田 幸典

大崎上島町教育委員会

教育長 出口 一伸

教育長職務代理者 北山 博子

委員 幸家 大

委員 藤原 龍秀

委員 岡本 康史

(構成員以外)

大崎上島町教育委員会

教育課長 石田 修次

事務局職員 2名

4 欠席者 (構成員)

5 傍聴人 なし

6 会議内容

午後1時00分開会

(開会)

教育課長

ただいまから、平成30年度第1回大崎上島町総合教育会議を開会いたします。出席されております構成員は6名でございます。本日の日程は配付しておりますとおりです。資料につきましては、次第、出席予定者名簿、平成30年度大崎上島町教育推進プラン、町立幼稚園の今後の方向性、本日の会議は、構成員と教育委員会事務局より3名出席しております。大崎上島町総合教育会議開会にあたり町長からあいさつをお願いいたします。

(町長あいさつ)

高田町長

第1回大崎上島町総合教育会議への出席をいただきありがとうございます。平素は義務教育を中心として町の教育推進にご尽力いただきまして感謝を申し上げます。教育委員会の指導のもと学校は頑張ってくださいっており、成果をあげていると思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。

教育課長

ありがとうございました。これより議事進行は、高田町長にお願いします。

高田町長

議事に入ります。報告事項、平成30年度大崎上島町教育推進プランについて、説明をお願いします。

出口教育長

平成30年度大崎上島町教育推進プランについて、ご説明させていただきます。昨年度を基盤に作成し、今年度、加筆、修正をした部分を説明します。表紙をご覧ください。『「大崎上島学」は、大崎上島町教育委員会固有の教育ブランドです。』を加えました。町教育委員会が最初に考案したものであり、全公立学校園で「大崎上島学」を行っているということをはっきりと示すためです。これは、他で使用できないということではありません。次は、4頁、確かな学力の育成で【これから】「知識を活用し、協働して新たな価値を生み出せるか」を重視の図があります。昨年度は、この上に【これまで】「何を知っているか」を重視する図がありました。今までの教育は知識重視であって、それを使って新しい価値を生み出すような教育ではないということ載せていました。すでに新しい学習指導要領をまえに述べられなくなっていますので、その表を削除しました。「プログラミング的思考」を育成するプログラミング教育の推進を追加しました。平成32年度から小学校に導入されますので、どのように取り組むかということ新たに載せています。6頁、大崎上島幼小中連携プロジェクトの系統性で、中学3年の次に、大崎海星高等学校、広島商船高等専門学校、三原特別支援学校大崎分教室に整理しました。最後の頁の推進体制ですが、学力向上部会にプログラミング教育の研究推進を入れ、どのようにプログラミング教育を入れていくか研究をしていきます。最後頁の「大崎上島学」の説明では3校が集まって行うK授業は重要であるという捉えで掲載しております。

高田町長

大崎上島町教育推進プランの変更点について、説明をしていただきました。

ご質問はありますか。

高田町長

ご質問がないようですので、協議事項に入ります。町立幼稚園の統合について、説明をお願いします。

出口教育長

町立幼稚園の今後の方向性について説明をします。5年前に幼稚園統合について提示をしましたが、いろいろな理由で統合については、現在まで様子を見てきたところです。教育委員会としては、今回の学校教育法の改正により、幼稚園教育要領の全面改定を受け、全国的な動きでもあり、本町でも再編整備を計る時期であると考えています。今まで教育委員会議や総合教育会議で再編整備について協議をしてまいりました。それにより、町立幼稚園の方向性やあり方について方針をまとめましたので、説明をさせていただきます。

教育委員会としては、幼児教育を最も重要な教育と位置づけて、大崎上島町教育推進プランが作成され、現在まで幼児教育のあり方について検討をしてきました。幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎が培われる極めて重要なものであります。適切な環境を通して行われることが基本であること。集団の中で遊びを通して、基本的な力をつけること。3年保育が適切な発達段階に応じた幼児教育の力をつける保育のあり方であるといわれています。本町を考えますと、園児数が減少し、集団を構成することが難しくなっております。統合することにより、集団を構成し、質の高い幼児教育を行うことができる。園舎は両園とも4、50年経過しており、最適な環境と言えません。より良い環境づくりが必要であることです。適正な幼児教育を行うため、2園を1園にする時期ではないかと考えています。1頁、1)本町の各園就園児数の推移をご覧ください。木江幼稚園の園児数が平成27年度は平成26年度と比べると倍になっていますが、全町一円になったためです。それからは20名前後を維持しています。しかし、大崎幼稚園は、平成27年度から半数に減少しています。本年度は4名です。

2頁、2)今後の望ましい町立幼稚園のあり方について、3)統合の方向性について、3)統合先について、先ほど説明させていただいたとおりです。3頁の統合を実施する場合の留意点ですが、これまでの協議してきた内容、要望も含め、10項目について書かせていただいています。5頁、今後の統合の進め方ですが、保護者と話をさせていただき、丁寧に説明し、要望もお聞きしたいと思っています。6頁の町立幼稚園統合スケジュールに沿って、進めていきたいと考えています。

高田町長

町立幼稚園の今後の方向性について、説明をいただきました。ご質問がありましたら、お願いします。

内容について、教育委員会議で協議しているのですか。

出口教育長

教育委員会議で、協議を重ねております。

出口教育長

通園方法について、私立幼稚園から送迎バスを全町に走らせているので、町立も一緒にバスを走らせる方法もあるのではという話がありました。

教育課長より内容を説明してください。

教育課長

「私立幼稚園はバスを所有しており、それぞれが園への送迎をしており、町立幼稚園も一緒に送迎することはできないか」ということでした。

高田町長

通園方法について、私立も含め、一緒にというのは合理的なことだと思うが、検討課題の一つだと思います。

高田町長

さきほど、教育長より説明があった方向性でいいと思います。いろいろな意見があると思いますが、議論をしっかりとしていきたいと思います。

方針にあるように、子どもは遊びを通じて学ぶということだと思います。少人数ですと集団遊びができません。

出口教育長

大崎幼稚園は、少人数ですので、工夫をしながら、幼児教育をおこなっています。

北山委員

4人なので運動会は、小学生と組まれて工夫していました。どちらも練習等大変だと思います。リズムは5年生と一緒にしていました。徒競走は、1、2年生の前に走っていました。これが続くのは大変だろうと思います。

幸家委員

難しい問題がたくさんあると思います。できるだけ要望を聞いていただきたいと思いません。

出口教育長

今後、町長部局の総務企画課と連携をしながら、進めていきたいと思えます。保護者説明会に出席するという事で協議をしております。

高田町長

教職員の体制について、方針によると人員が不足すると思われます。来年度統合となると人員の確保が課題になります。

高田町長

その他に入ります。事務局はありますか。

教育課長

第2回総合教育会議の開催ですが、スケジュールでは、1月に開催予定です。

高田町長

事務局で日程調整をお願いします。

他に何かありますか。

A L Tについて、教育長と協議をしております。A L Tは、人数が増えていますので、3年ごとに変えると安定した教育ができません。核になる人がいればいいと思っています。雇用条件について協議していただきたいと思います。

高田町長

以上で本日の協議は全て終了しました。

これをもちまして第1回総合教育会議を閉会といたします。

午後1時40分閉会